

認証取得までのプロセス

マネジメントシステム認証取得のために組織が取るべきプロセスは、多くの場合、事業の規模、成熟度、リスクマネジメントに対する既存のアプローチなどの要因に左右されます。LRQAによる認証取得のための一般的なプロセスには、以下のステップが含まれます。

準備状況を確認する

オプションとして、ギャップ分析または事前審査を実施することができます。LRQAの審査員が貴社のシステムの準備状況を評価し、正式な審査に進む前にさらに注意が必要な分野を指摘します。

ステージ2審査 - 実施状況の評価

ステージ2では、審査員が、選択した規格の要求事項に沿って、マネジメントシステムの実施状況と有効性を評価します。重大な不適合がなければ、認証を取得することができます。第2段階の審査は、リモートまたはオンサイトで実施されます。

年次定期審査 - 計画通りに進行する

認証は3年周期で実施されます。私たちは、貴社のマネジメントシステムが効果的であり、維持され、継続的に改善されていることを確認するために、毎年定期審査を実施します。



導入を加速させる

LRQAの教育研修は、主要な規格とその要求事項に関する知識の構築を支援し、マネジメントシステムを最適化するための洞察力とスキルを身につけることができます。



受講形態



ステージ1審査 - 文書のレビューと計画

審査員は、システムの設計と文書を確認し、それが規格の要件と提案された審査範囲を満たしているかどうかを判断します。続いて、主要なチームメンバーとの面談が行われます。ほとんどの場合、第1段階審査はリモートで実施されます。



認証取得を市場にアピール

国際的に認められたベストプラクティスと継続的な改善への取り組みを証明し、新規ビジネスの獲得と利害関係者の要求の実現に貢献します。



認証書の更新

認証の有効期限が切れる3ヶ月前に、組織の活動が規格の要求事項に適合していることを確認するために、再度審査を実施します。



お問い合わせ

詳細については、<https://www.lrqqa.com/ja-jp/> をご覧ください。

LRQAリミテッド
〒220-6010
横浜市西区みなとみらい2-3-1
クイーンズタワーA10階